コード No. 11115

Anti-Human
Amyloidβ (38-42) (44A3) Mouse IgG MoAb

容量 : 50 µg

はじめに : アルツハイマー病は 1907 年ドイツの神経病理学者 A. Alzheimer によって最初に報告され、現在では老人性認知症の最も大きな原因となっています。アルツハイマー病の脳に多く現れる老人斑はアミロイドベータ(Aβ)タンパク質によって構成されています。Aβ は 40～43 アミノ酸からなるペプチドで、β-および γ-セクレターゼの働きにより、前駆体タンパク質 APP (695, 751 または 770 アミノ酸からなる膜タンパク質)から切り出されると言われています。

免疫抗原 : Human Amyloidβ (38-42)の部分合成ペプチド (GVVIA)

起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ（培養上清)
(X63 – Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 : 44A3 サブクラス : IgG_{2b}

精製方法 : Protein A 精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN_3 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加（この時濃度は 50 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2～8°C 保存 5 年間安定
溶解後 -20°C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 5 µg/mL にて使用可能
ホルマリン固定、パラフィン包埋切片の場合ギ酸処理*によって染色性が著しく向上します。
*ギ酸処理方法**:** 脱パラフィン後ギ酸に 5 分間浸漬した後、流水洗浄
: ウェスタンブロッティング 5 µg/mL にて使用可能
: 免疫沈降法 10 µg/test にて使用可能

特異性 : Human Amyloidβ(1-42) 特異的。
同量のヒト Amyloidβ(1-40)および(1-43)は、ウェスタンブロッティングでは検出されません。

交差性 : Mouse, Rat の Amyloidβ (1-42) と交差します。

株式会社 免疫生物研究所
E-mail: do-ibl@ibl-japan.co.jp
URL: http://www.ibl-japan.co.jp